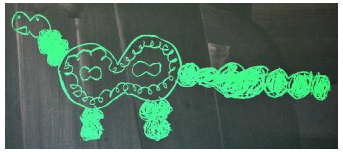
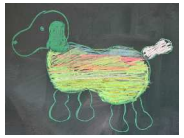
平成二十六年度　富良野市立布部小中学校

学芸会・演劇祭上演台本

じゃっかんひょうたん島事件

作・布部小中の児童生徒たちと今村先生





（　　）ねん（　　）

キャスト

流(ナガ)されてくる人(みさき)　…小5

村長(そんちょう)(影絵・母の声)　…中3

刑事(けいじ)(影絵・父の声)　…小4

タレント　…小4

スナイパー　…小4

ピアニスト　…小4

ウルトラセブン　…小4

海賊船長(かいぞくせんちょう)　…小3

ドクターK　…小3

子ども(なぎさ)　…小1

ひょうたん動物(どうぶつ)　…小1

嵐(あらし)さん　…小1

シカなど…先生方

巨大(きょだい)カメムシ…　先生

プロローグ　かげ絵『フェリーで旅行中』

海(波・カモメ)の音がきこえ、まくがあく。
ステージの上はかげ絵スクリーン。海にフェリーが浮かんでいる。

母　「きれいな海ね」
みさき　「お父さん、ここ、どのへんなの?」
父　「オホーツク海のまんなかあたりだよ」
母　「みわたすかぎり、水平線ね」
みさき　「きもちいい～」
父　「ひさしぶりの家族旅行だ。のんびりしような。」
みさき　「ん～ん」
3人　「し・あ・わ・せ!はははは。」
母　「ん?あれは何かしら?」
父　「サメだ――!」
3人　「わ～。」

サメがぶつかり、みさきがふねから「ボチャン」と落ちる。

父母　「みさき――!」
みさき　「たーすーけーて――――――!」

みさき、流される。
ふねがとおざかり、反対側からひょうたん島がうかんでくる。
みさき、ひょうたん島へたどりつく。(効果音「ブスッ」)

全員　「じゃっかんひょうたん島事件!」(影絵・タイトルコール)

全員、会場のいろんなところから登場し、鼓笛えんそうスタート。

生演奏　《　ひょっこりひょうたん島(1番のみ)　》

演奏終わり、全員ぶたい上。

刑事　「事件だ!」
全員　「わ――――――!」

サイレンの音。全員一度さり、楽器をおいて、また出てくる。

シーン1　『ひょうたん動物盗難事件』（どうぶつとうなんじけん）

ステージの上があかるくなる。ひょうたん島の海岸。
動物用の柵（さく）があり、とびらがあいている。
刑事、タレント、スナイパー、ピアニスト、セブン、ドクター、なぎさが、深刻そうな顔で立っている。

セブン　「なんてことだ！」
スナイパ　「ひょうたん動物が！」
ドクター　「ぬすまれた！」**（ピアニスト“火サスのテーマ”をけんばんハーモニカでひく）**
タレント　「いったいだれがこんなひどいことを…。」
スナイパ　「わたしじゃないわよ。」
ドクター　「じゃあ、だれがやったんだ」

みさきが海賊船長に連れられて出てくる。
みさきはぬれていて、ワカメなどがついている。

みんな　「海賊船長！」
タレント　（みさきに）「…あなただれよ？」
みさき　「…あなたたちこそだれ？」
スナイパ　「あやしい！きっとこいつよ！」
みさき　「ちがう！よくわからないけどちがう！」
刑事　「はんにんは、あなたなのであ～る！」**（ピアニスト“火サスのテーマ2”をひく）**
みさき　「なにそれ！ちがうし！」
海賊　「この子はちがうぞ。さっき、この島に流れついたばっかりだ。たまたまこの島に流れついたところを、さっき俺が浜から引き上げたんだ。」
タレント　「まあ。それはたいへんだったわね。」
みさき　「ここ、どこなんですか？」
スナイパ　「ここは、じゃっかんひょうたん島。」
みさき　「じゃっかん？」
ドクター　「うん、じゃっかんね。」
みさき　「帰りたいんですけど、連絡してもらえませんか？」
タレント　「それはむり。ここには、電波もとどかないし、船もない。」
スナイパ　「浮島だから、地図にものっていない。ここは忘れられた島なのよ。」
みさき　「な……。」
ドクター　「かわいそうだけど、この島からはもう出られないと思うよ。」
みさき　「うそ…。」**（ピアニスト“運命（ガガガガーン）”をけんばんハーモニカでひく）**
海賊　「…で。ひょうたん動物だろ！」

タレント　「そうだった！一頭しかいない、島の宝がぬすまれたんだ！」
スナイパ　「あれ？とびらのカギがあいている。」
ドクター　「カギをもっていたのは…」
セブン　「村長だ！」
海賊　「村長を呼んでこよう！」
みんな　「おー！」（みさき以外、出ていく）

みさき、とりのこされる。
すると、シカなど（先生方）にのった村長が登場。（騎馬戦のように）
ピアニスト、祭りっぽい景気のいい曲をけんばんハーモニカでひく

みんな　「村長！村長！村長！村長！」
村長　「しずまれーい。たしかに、とびらが開いておる。しかし！カギはこのとおり、わらわがしっかり持っておる。つまり…ひょうたん動物は、何ものかにぬすまれたのじゃ！」
みんな　「やっぱり。（ざわざわ…）」
刑事　「…なるほど！」
海賊　「どうした？ランニング刑事」
刑事　「いまここには、この島の住民全員がそろっている。」
ドクター　「うん。」
刑事　「そしてこの島からは、出るすべがない。つまりここは、大きな密室なんだ！」
セブン　「ということは？」
刑事　「はんにんは…この中にいる！」
みんな　「なんだって――！」**（ピアニスト“火サスのテーマ2”をひく）**
刑事　「きっと今は、どこか別の場所にかくしているにちがいない。」
村長　「よろしい！それでは、これから裁判を行う！じゃっかんひょうたん島ひょうたん動物盗難事件の裁判、開廷じゃ！」

みんな拍手。**（ピアニスト“ファンファーレ（バンバカパーン）”をけんハでひく）**
ひょうたん裁判の形になる。

村長　「ではまず、一番あやしいおぬし。」
みさき　「みさきです。」
村長　「みさきがやっていないという証拠はあるのか？」
みさき　「わたしはこの島に来たばっかりなの！ていうか、そもそも、ひょうたん動物って何？へんな名前だし。」
村長　「あの不死身で話題の、ひょうたん動物を知らないなんて。なんてバチあたりな。」
刑事　「はんにんはあなたなのであ～る！」**（ピアニスト“火サスのテーマ2”をひく）**
海賊　「おれが助けたんだから、この子の無実はたしかだ。ついでにおれもな。」
村長　「でもしょせん海賊の言うことだしのう。」

刑事　「はんにんはあなたなのであ～る！」**（ピアニスト“火サスのテーマ2”をひく）**
海賊　「ちがう！」
村長　「よかろう。では次、タレントのしずか。おぬしの無実は証明できるか？」
タレント　「わたしはさっきまで、ちょうどひょうたんライブをしていたの。」
村長　「そのことを証明できるものは？」
スナイパ　「はい。」
村長　「おお、スナイパーか。」
スナイパ　「その時わたしは、ライブ会場のとなりで、ずっと射的の練習をしていたわ。」
タレント　「そうそう！ポンポンうるさくて、じゃまだったもの。たしかよ！」
村長　「でもどうせまたお客さんはだれもいなかったのじゃろ。それに、スナイパーなんて、いかにもあやしい。」
刑事　「はんにんはあなたなのであ～る！」**（ピアニスト“火サスのテーマ2”をひく）**
タレ・スナ　「ちがうわ！」
村長　「よかろう。次はおぬしじゃ。ドクターK。」
ドクター　「ぼくはさっきまで、この、なぎさちゃんの手術をしていました。“ひょうたんブツブツ病”を治すために。」
村長　「ひょうたんブツブツ病！あのおぞましい病気にかかっていたのか…かわいそうに」
ドクター　「でも、今ではすっかりよくなりました！よくがんばったね。」
なぎさ　「うん！」
村長　「でもその間、なぎさちゃんはますいでねむってたわけじゃのう。」
刑事　「はんにんはあなたなのであ～る！」**（ピアニスト“火サスのテーマ2”をひく）**
ドクター　「ちがいます！」
村長　「よろしい、では次は、ピアニスト。」
ピアニスト　（けんばんハーモニカで「わたしはやってない」とひく。）
村長　「だけどこれはピアノじゃなくて、けんばんハーモニカじゃよ。」
刑事　「じゃあ！はんにんはあなたなのであ～る！」**（ピアニスト“火サスのテーマ2”をひく）**
村長　「もうよい。では最後にウルトラセブン。」
セブン　「ジュワッ！」
村長　「おぬしはなにをしておったのじゃ？」
セブン　「おれはさっきまで、この島をあらす、カメムシと戦ってたぜ！」
村長　「おお！」
みんな　「ありがとう！ウルトラセブン！」
刑事　「それでも、はんにんは…！」
タレント　「ちょっとまって、さっきから人をはんにんあつかいしてる刑事さん」
刑事　「ランニング刑事だ！」
タレント　「あなたもあやしいわ。」
スナイパ　「そうよ！あなたはなにをしていたの？」
刑事　「おれはそのとき、今日着るランニングをえらんでいたんだ！」
海賊　「ずっと？」

刑事　「ああ、ざっと5時間くらいかな！」
ドクター　「いったい何まい持っているんだ？」
村長　「ううむ。結局、みんなあやしいまま…たたりじゃ！」

間

みさき　「あれ？なにこれ。バネ？」
海賊　「バネにしては、のびちゃってるな」
タレント　「見せて！もしかして…」
スナイパ　「これでカギをあけたんじゃない？」
刑事　「きっとそうだ！」
ドクター　「でもこれ、いったいなんのバネなんだろう…」
みんな　「うう～ん…」

その時、くらくなり、みさきにだけスポットライトが当たる。他の人は全員かたまる。

みさき　「残されたバネ？…そして、なぜかはんこう現場にもどってきたはんにん…はんにんにはバネが必要だったのかも…え？ちょっとまって…あの音…はんにんに足りないもの……そうか…そうだったのか！…会場の皆さんはもうわかりましたか？ヒントは2つ、針金と音。この事件の真犯人は、そう…あの人です！謎解きは…」
全員　「CMのあとで！」

くらくなる。みんな、その場に体育座りして、CMを見る。（休憩）
ランニング刑事は、リュックからおにぎりを出して、おいしそうに食べる。

《映像》　布部小中学校プールのCM（約1分半）

シーン2　『子ども人質誘拐事件』

明るくなる。みんな立つ。

みさき　「ねえ、みんな！きづかない？さっきからプープーうるさい、あのけんばんハーモニカ。なんか音が変！」
セブン　「あ、たしかに。」
ドクター　「そういえば、ずっと一音出ていない！」
海賊　「ちょっとそのケンハ見せてみろ！」（ピアニストから、ケンハをうばう。）
ドクター　「あ、けんばんが、ひとつこわれてる！」

村長　「このバネを入れると…」
全員　「ぴったり！」
みさき　「さあ、もう一度ひいてみて！」

ピアニストがひくと、きれいに音がでる。（火サスのテーマ）

村長　「ということは…」
スナイパ　「ほら、ランニング刑事。」
刑事　「あ、そっか…！はんにんは！あなたなのであ～る！」（うれしそう）

はくしゅ。（「野に咲く花のように」の前奏-n）

ピアニスト　「ばれちまっちゃあしょうがない。」
みんな　「え？」
タレント　「ピアニストさん、しゃべれたのか？」
ピアニスト　「ピアニストとは世をしのぶかりのすがた。何をかくそう、わたしは、ルパンのしんせきなのだ！」
みんな　「えー！」
スナイパ　「あの有名な怪盗ルパンの？」
タレント　「すごい！」
ピアニスト　「いっひっひ。」
スナイパ　「なにその変なわらい方！」
タレント　「ひょうたん動物をどこにかくしたの？」
ピアニスト　「来るな！」
なぎさ　「きゃあ！」

ピアニスト、子ども（なぎさ）を人質にとる。

みんな　「なぎさちゃん！」
ピアニスト　「それ以上近づくと、この子がどうなっても知らないぞ！」

なぎさの顔にカメムシを近づける。

村長　「あれは！」
みんな　「カメムシだ！」
なぎさ　「くさいよー！」
刑事　「やめろー！」
海賊　「なんてひどいことを！」
村長　「たたりじゃー！」

ドクター　「くそう、くさくて近づけない！」
セブン　「ここはおれが！アイスラッガー！」（カメムシがうしろにとんでく）
みんな　「やったあ！」
ピアニスト　「くそう！では、これならどうだ！」（巨大なカメムシが出てくる）
海賊　「巨大カメムシだ！」
なぎさ　「助けてー！」
セブン　「ジュワッ！」（ピコーンピコーン…）
ドクター　「あ。カラータイマー。」
セブン　「ざんねんだ！」

ウルトラセブン「ジュワッ」と言いながら、とんで去っていく。

ピアニスト　「いっひっひ！」（カメムシをみんなに向ける）
みんな　「クッサー！」（みんな、あまりのくささに、ひざをつく）
ピアニスト　「もうすこしなんだ…もうすこしで、この島のひみつがわたしのものに！」
なぎさ　「いやー！」

ピアニスト、なぎさをつれて、走りさる。

刑事　「ちくしょう、どこにいったんだ！」
ドクター　「なぎさちゃん。」
海賊　「この島のひみつって、なんだ？」
刑事　「とにかく、さがさねば。」
スナイパ　「でも、どうやって。」
タレント　「それにしても、カメムシくさかったわね。」
みさき　「そうよ！それよ！」
みんな　「え？」
みさき　「あのきょうれつなカメムシのにおいをたどっていけば！」
海賊　「そうか、くさいほうにやつがいる！」
ドクター　「クッサー！こっちだ！クッサー！」
スナイパ　「まってろよ！クッサー！なぎさちゃん！クッサー！」
タレント　「かくごしろ！クッサー！はんにん！クッサー！」
みんな　「クッサー！……クッサー！……クッサー！……」

みんな、クッサクッサ言いながら、はんにんを追っていく。（はける）
うすぐらくなる。

シーン3　『ひょうたんの森』

うすぐらい中、クッサクッサいいながら、みんなで場面てんかん（森のじゅんび）。
森のじゅんびがととのったら、明るくなる。
ひょうたんの森。真ん中奥に遺跡らしき物がある。

みさき　「ここは、どこ？」
スナイパ　「ひょうたんの森よ。」
タレント　「わたしたちも入るのははじめて。」
ドクター　「ここに入ることはきんしされていたからね。」
海賊　「においはこの奥からただよってくるぞ！」
刑事　「いくぞ！」
村長　「だめじゃ！それ以上この森に入ってはならぬ！」
みさき　「どうして！」
村長　「これ以上森に立ち入ると、わざわいがふりかかるぞ。」
みさき　「でも、なぎさちゃんはこのおくに…。」
刑事　「あ！いた！」

ピアニストとなぎさとひょうたん動物が登場

ピアニスト　「おまえたち！なんでここが…！」
なぎさ　「たすけてー！」
海賊　「よかった。ひょうたん動物も無事だ！」
刑事　「もう負けないぞ！さあ、ドクターK！」
ドクター　「え？ぼく？ムリムリ！ここは病院じゃないし…」
みさき　「ドクターKの、総回診のお時間ですっ！」
ドクター　「よしきた！」

全員ドクターKの後ろにならぶ。総回診で、ピアニスト達にせまる。
ピアニスト「なに？なに？」と言いながらあとずさる（逃げ回る）。

ドクター　「よし！ぼくがここに来るとちゅうでつくった、とっておきの消臭スプレーだ！！
くらえ！しょーしゅーりーきーーーー！」（スプレーをかける。）
ピアニスト　「なんて、いいかおり♪」
ドクター　「オペ…成功！」
みんな　「お見事です！」（拍手）
みさき　「そしてつぎはスナイパー！」
スナイパ　「まかせて！ねらいはカメムシ…ヨーイ…ファイヤー！」（空気でっぽうをうつ）

ピアニスト　「そんな空気でっぽう、きくかーー！」（へっちゃら）
スナイパ　「おのれ！じゃあ、これならどうだ！（巨大な空気でっぽうを出す）ヨーイ…ファイヤーーーー！」
ピアニスト　（カメムシをうしろにとばして）「うわあ！」
スナイパ　「おねんねしてな、ベイビーー！」
みんな　「やったーー！」（拍手）
ピアニスト　「くそう！こうなったら！」（みんなにむかっていく）

ピアニストが、直接おそいかかろうとする。
みんな、びっくりして後ずさる。そこへ、ウルトラセブンが登場。

セブン　「ジュワッ！エメリウム光線！」（おでこからのビーム）
ピアニスト　「ぎゃーー！」
みんな　「ありがとう！ウルトラセブン！」

ピアニストがたおれ、子どもがみんなのもとへ。

ドクター　「なぎさちゃん、こわくなかった？」
なぎさ　「うん！くさかったけど！」
海賊　「よかったな。」
スナイパ　「それにしても、森の中はこんな風になってたのか。」
タレント　「きれいねー。」
みさき　「村長さん、なんで今までだれも入っちゃダメだったの？」
村長　「それは…。」
スナイパ　「あれ？あれはなに？」
タレント　「岩？…いや、いせきだ！古いいせき！」
刑事　「なにか書いてあるぞ。おんぷかな？」
ピアニスト　「あれはがくふさ。」
みんな　「え？」
ピアニスト　「そしてそのメロディーは、ひょうたん動物の、あの歌うような鳴き声とまったくおなじなんだ！きっとなにかひみつがあると思って、ひょうたん動物をぬすんだんだが、わたしの前では鳴いてくれなかった。」
スナイパ　「そうか。ひょうたん動物が鳴くのは…」
タレント　「いつもなぎさちゃんの前だけ！」

みんな、なぎさを見る。

なぎさ　「いいよ。鳴かせてみるね。」
ピアニスト　「え？」

なぎさ　「さあ、鳴きなさい！えいっ！」（チョップ）
スナイパ　「まあ、そんな方法で……！」
タレント　「いがいとらんぼうね！」
動物　（歌うように）「♪クークークークークークククク、ククククークークークー」
みさき　「え？」

何もおきない。

刑事　「なんだ、なにもおきないじゃん。」
ピアニスト　「そんな…わたしのしたことはムダだったのか。」
みさき　「この歌…私の学校の校歌よ。」
みんな　「え？」
セブン　「どういうことだ？」
みさき　**「♪豊かに実る平和の里よ　楽しい歌がこだまする**
花のにおいの　愛の歌　いつもやさしく助け合う
われら布部の　やさしい子ども♪」
スナイパ　「いい歌。」
タレント　「でも、ひょうたん動物の鳴き声とおなじ…なんで？」
村長　「だからあれほど森に入ってはならぬと言ったのに…」

そのとき、ゴゴゴ……と音がして、スポットライトが村長に当たる。（スモークも？）
みんな、「え？」「なに？」と口々におどろく。
なんと、村長がバーママに変身する！

シーン4　『じゃっかんひょうたん島のひみつ』

みんな　「村長！？」
ピアニスト　「バーママだったの！？」
ママ　「ちがうわ。わたしは、じゃっかんひょうたんヴィーナス。このじゃっかんひょうたん島の守り神よ。」
みんな　「えー！」
動物　「あの歌が、ぼくたちの、ふついんをとくカギになってたんだクー。」
スナイパ　「ひょうたん動物がしゃべった！」
動物　「ずっとクーしかしゃべれなくするなんて。ひどいよ、バーママ。」
ママ　「バーママじゃないって言ってるでしょ。」
動物　「ぼく、いっしょうけんめい、みんなにヒントを出していたんだよ。だれも気づいてくれなかったけどクー。」

ママ　「しょうがなかったのよ。」
海賊　「しょうがないってどういうことだ？バーママ」
ママ　「バーママじゃないの。知らない方がいいこともあるのよ。」
ドクター　「そんなこと言わずに、おしえてよバーママ！」
みんな　「バーママ！」
ママ　「…この島は昔、北海道にある布部という場所の一部だったの。ちなみにわたしはバーママじゃない…」
みさき　「そこわたしの住んでるところ！」
みんな　「え？」
ママ　「そう…ふしぎな偶然ね。その昔、布部で火山の大噴火があったの。その噴火の力で、丸ごととばされてできたのが、この“じゃっかんひょうたん島”。」
みさき　「そういえば聞いたことある。校庭のがんばり山が、大昔に大噴火をおこしたことがあるって！」
ママ　「きせき的に生き残った者たちが村を作った。あなたたちはその子孫ってこと。以来、この島は、長い間だれにも見つからずに、しずかに海をただよっていたのよ。」
みさき　「だからここにはカメムシが多いのか。」
ピアニスト　「ぜんぜん知らなかった。」
スナイパ　「でもバーママ。なんで今までそんな大事なことをだまってたの？」
タレント　「そうよ。ひどいわバーママ。」
ママ　「今まで何度も布部にもどろうとしたけど、だめだったのよ。ここにいる方がきっと幸せなんだわ。海にかこまれ、波にプカプカ浮かんで、毎日のんびりと…。」
海賊　「たしかにね。」
ドクター　「ここにいるのが一番いいのかも。」
みんな　「んだんだ。」
みさき　「そんなことない！」
みんな　「え？」
みさき　「布部はとってもいいところよ！自然がいっぱいだし、クワガタもたくさんとれるし、スイカやメロンはおいしいし、虫がいっぱい入ってくるプールだって、最高なんだから！」

間

ママ　「そう…そうかもしれないわね。」
海賊　「おれたちのふるさとか。」
ドクター　「考えたこともなかったな。」
ピアニスト　「じゃっかんひょうたん島のあるべきところは、ここじゃない。」
スナイパ　「帰りたいな、わたしたちの本当のふるさとへ！」
みんな　「うん！」

シーン5　『かえろう作戦』

刑事　「…でも、やっぱりできないよね、この島をもとにもどすなんて。」
スナイパ　「だってバーバママが昔やってできなかったんでしょ。」
ママ　「バーバママじゃないわ。」
スナイパ　「ピアニストは何か方法しらないの？ルパンのしんせきなんでしょ？」
ピアニスト　「いや、先祖が昔、ルパンのとなりに住んでたってだけだから。」
スナイパ　「それはしんせきとは言わないね。」
海賊　「おれ、聞いたことあるぜ、海の伝説。」
みんな　「海賊船長！」
海賊　「嵐だ。島を動かすほどの大嵐をよび、島をじざいに動かしたっていう伝説がある。」
みさき　「でも嵐なんてよべるわけない！」
タレント　「わたし…知ってるかも。」
村長　「しずかさん？」
タレント　「昔、お母さんにおしえてもらったことがあるの。嵐をよぶ、ひみつの歌。でも…きけんだから、けっしてうたってはいけないって。」
スナイパ　「その歌！おしえてよ、しずか！」
タレント　「でも…あたしこわいっ！」
スナイパ　「だいじょうぶ。わたしたちもいっしょに歌うから。」
ドクター　「ゆうきをだして。」
海賊　「おれたちのふるさとを、とりもどそうぜ！」
タレント　「みんな…そうよね。あたし…がんばる！じゃあみんな、あたしのあとに続いて、うたってくれる？」
みんな　「オーケー！」
タレント　「まず初めは…♪**あ〜ら〜しを**」
みんな　「♪**あ〜ら〜しを**」
タレント　「つぎは…♪**お〜こ〜して**」
みんな　「♪**お〜こ〜して**」
タレント　「そして…♪**す〜べ〜てを**」
みんな　「♪**す〜べ〜てを**」
タレント　「さいごは…♪**も〜ど〜すの**」
みんな　「♪**も〜ど〜すの**」

間。

刑事　「なにもおきないや。」
ママ　「まだ、なにかがだりないのよ。」
ピアニスト　「なにかって？」

セブン　「アクションさ！」
みんな　「アクション？」
セブン　「力を高めるなら、やっぱアクションだぜ！スペシウム光線の原理だ！（ポーズ）」
スナイパ　「そっか、アクション！じゃあ、そのスペシウム光線からヒントをもらって…こういうのはどう？」

スナイパー、「チャチャッ、チャチャッ、チャチャッ、チャチャチャチャッ」と口ずさみながら、手をクイックイッとL字に動かす。（工藤静香の例の振り付け）

みんな　「い～ね～！」
タレント　「じゃあ、さっきの歌に続けていくわよ！せ～の！」

歌　《　嵐の素顔　（アカペラ）》

♪あ～ら～しを　お～こ～して
す～べ～てを　も～ど～すの
（L字アクション）
チャチャッ、チャチャッ、チャチャチャチャチャチャッ
チャチャッ、チャチャッ、チャチャチャチャチャチャッ

間。

刑事　「だめか！」
ピアニスト　「いや、もうすこし！」
スナイパ　「ほら、風はふいてきたよ！」
みさき　「でも、やっぱわたしたちだけの力じゃ…」
ママ　「そうだわ、しずかさん！会場のみささんにも協力してもらえば…！」
タレント　「それはいい考えね！というわけで、会場のみなさん！どうかあたしたちに、今年も力をかしていただけませんか？あたしたちといっしょにこの歌をうたって、いっしょに右手で、スペシウムアクションをしてください！」
みんな　「おねがいします！」

タレント　**（曲IN）♪冷たい○○○○　○○○○○○○**
みんな　**♪○○○○○○○　○○○○○**
○○○○　○○○○（スナイパーがクラッカーをならす）
それでは～　ご～い～っしょ～に♪

タレント　「せーのっ！」

歌《　嵐の素顔　（曲つき）》

♪あ～ら～しを　お～こ～して　す～べ～てを　も～ど～すの（タレント「もういっかい！」）
あ～ら～しを　お～こ～して　す～べ～てを　も～ど～すの
（L字アクション）
チャチャッ、チャチャッ、チャチャッ、チャチャッ
タレント　「まだたりません！」
チャチャッ、チャチャッ、チャチャッ、チャチャッ
タレント　「さあ、はずかしがらずに！」
チャチャッ、チャチャッ、チャチャッ、チャチャッ
タレント　「もっと元気よく！」
チャチャッ、チャチャッ、チャチャッ、チャチャッ
タレント　「心をこめて！」
チャチャッ、チャチャッ、チャチャッ、チャチャッ
チャチャッ、チャチャッ、チャチャッ、チャチャッ

歌のとちゅうから、うしろの方に、ちょっとずつ嵐さんが見え隠れしている。
ラストで、嵐さんがまんなかにバーンと出てきて。

嵐さん　「よんだかい！？」
タレント　「やったー！」
みんな　「ご協力、ありがとうございました！！」
海賊　「大嵐がきたぞー！」
ドクター　「みんな、なにかにつかまれー！」
みんな　「わー！」

みんな、さり、嵐さんだけのこる。

嵐さん　「あらし！あらし！あらし！あらし！……ぜーんぶ、ふきとばしちゃうぞー！」

ドドーンという音。ミニチュアのひょうたん島が流れてくる。

嵐さん　「あ、じゃっかんひょうたん島だ。（ひょうたん島をもちあげて）よーし。あらし！あらし！あらし！……」

ゴーという音とともに、嵐さん、さる。

エピローグ　かげ絵『布部にかえろう！』

嵐の音。影絵スクリーンに大きな北海道の影（ひょうたん型のあながあいている）。
嵐さんの影（人形ではなく、そのままの人の影）が登場。

嵐さん　「あらし！あらし！」
なぎさ　「すごい！とんでる！」
海賊　「ふりおとされるな！」
タレント　「ちゃんと正しい場所にもどれるの？」
スナイパー　「きっとだいじょうぶ！嵐さんをしんじよう！」
嵐さん　「え～と、ここかな？」
みさき　「だめ！そこははこだて！」
嵐さん　「あ、そっか。じゃあこのへん？」
みさき　「そこは、さっぽろ――！」
嵐さん　「うう～ん。」
ドクター　「ほら、なやんじゃったじゃないか！」
ピアニスト　「ほんとにだいじょうぶなの？」
動物　「へそだよ！」
嵐さん　「へそ？」
ママ　「ふらのはほっかいどうのへそなの！布部はそのちょっと下らへん！」
嵐さん　「そっか。わかった。」
セブン　「たのんだぜ、嵐さん！」
嵐さん　「うん。じゃあいくよー。せーの、えいっ！」

北海道のあなに、ひょうたん島がパコッとはまる。
音楽：n“ひょっこりひょうたん島”
みんな「わ～！」と言いながら、会場の客席の後ろから登場し、舞台上かけあがる。

ママ　「やったわね！」
みさき　「うん！」
動物　「なんてきれいなとこなんだクー。」
なぎさ　「ここが、わたしたちのほんとうのふるさと……！」
みんな　「ただいま布部！」

みんな、おもいおもいに手をふる。
そして、まくがとじる。

カーテンコール

おしまい